



【発信日】 令和5年7月4日

【問合わせ先】

大野市教育委員会事務局

生涯学習・文化財保護課 担当 佐々木、酒井

電話 0779-65-5590

### 九頭竜湖は幅広い時代の化石が発掘される地層の宝庫！

～くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ企画展「九頭竜湖の隠れた化石産地」開催～

企画展「九頭竜湖の隠れた化石産地」を、くずりゅう化石ラボ ガ・オーノで下記のとおり開催します。市民をはじめ、多くの皆さんにご来館いただきたく、事前周知と開催期間中の取材をお願いいたします。

#### 記

- 1 タイトル 企画展「九頭竜湖の隠れた化石産地」
- 2 内 容 九頭竜湖エリアには、時代が異なる様々な地層が複雑に分布しており、古生代から中生代まで幅広い時代の化石が発見されています。本企画展では、九頭竜湖エリアの隠れた化石産地について紹介します。
- 3 展示資料 (1) 野尻おぐらだにの小椋谷層産化石（三葉虫、フズリナ、オウムガイなど）  
(2) 大谷おおぼらだにの大洞谷層産化石（サンゴ、フズリナ、コノドントなど）  
(3) 箱ヶ瀬しばすだにの子馬巢谷層産化石（サンゴ、ウミユリなど）  
(4) 持穴もちあなの手取層群産化石（シダ類の葉、ソテツ類の葉など）
- 4 開催場所 くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ（大野市朝日25-7、電話 0779-78-2845）
- 5 開催期間 7月22日（土）～11月5日（日）  
休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日
- 6 開館時間 平日（土曜日含む） 午前9時～午後4時  
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
- 7 入館料 通常入館料 [300円（団体30名以上 150円）、中学生以下は無料]
- 8 主催・協力 主催 大野市教育委員会  
協力 福井県立恐竜博物館、福井市自然史博物館、大野地球科学研究会

- 9 関連イベント 学芸員によるギャラリートーク  
日時：7月22日（土）、8月19日（土） 午前11時～正午  
内容：学芸員が展示内容の見どころ、化石の最新情報について解説します。  
会場：くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ  
講師：酒井佑輔（大野市教育委員会 主任学芸員）  
対象：小学生以上  
参加料：300円（入館料として）、中学生以下は無料  
申込方法：申込不要。当日、会場へ直接お越しください。
- 10 取材について 担当学芸員が対応しますので、事前に連絡を下さいますようお願いいたします。

## 1. 九頭竜湖断層沿いに複雑に分布する地層



大野市と岐阜県郡上市の県境に位置する油坂峠付近から大野市箱ヶ瀬まで、ほぼ東西方向に延びる長さ約7 kmの活断層は、令和2年11月に「九頭竜湖断層」と命名されました。この断層の周辺地域では、時代が異なる様々な地層が複雑に分布しており、古生代から中生代までの幅広い時代の化石が発見されています。

## 2. 主な展示資料

### ①HOROSSA!で発掘された古生代の化石

大野市化石発掘体験センターHOROSSA!では、大野市箱ヶ瀬に分布する子馬巣谷層（約4億4000万年前：シルル紀～約4億年前：デボン紀）の岩石を使った化石発掘体験を実施しています。サンゴやウミユリなどの化石がこれまでに発掘されています。サンゴ化石の中には、太陽のような模様に見えることから「日石サンゴ」と呼ばれている種類も発見されています。

(右) HOROSSA!で発掘された子馬巣谷層産の日石サンゴ化石



1 cm

### ②コノドント化石

コノドントは、約5億年前（後期カンブリア紀）～約2億年前（三畳紀末）の地層から見つかる動物の一部の化石で、とても小さく歯のような形をしています。

令和4年5月、大野市大谷に分布する大洞谷層（約3億年前：後期石炭紀）から多数のコノドント化石の発見が報告されました。

(右上) 大洞谷層産のコノドント化石

(右下) コノドントを持つ動物のイメージ [提供：山本 匠]



1 mm



### ③三葉虫化石

古生代の間、海で繁栄した節足動物の仲間です。カンブリア紀に出現し、ペルム紀末に絶滅しました。現在までに22,000種類以上の種が報告されています。

大野市野尻に分布する小椋谷層（約2億7000万年前：ペルム紀）からは、ペルム紀に生息していた三葉虫の尾の部分の化石が発見されています。

(右上) 小椋谷層産の三葉虫化石

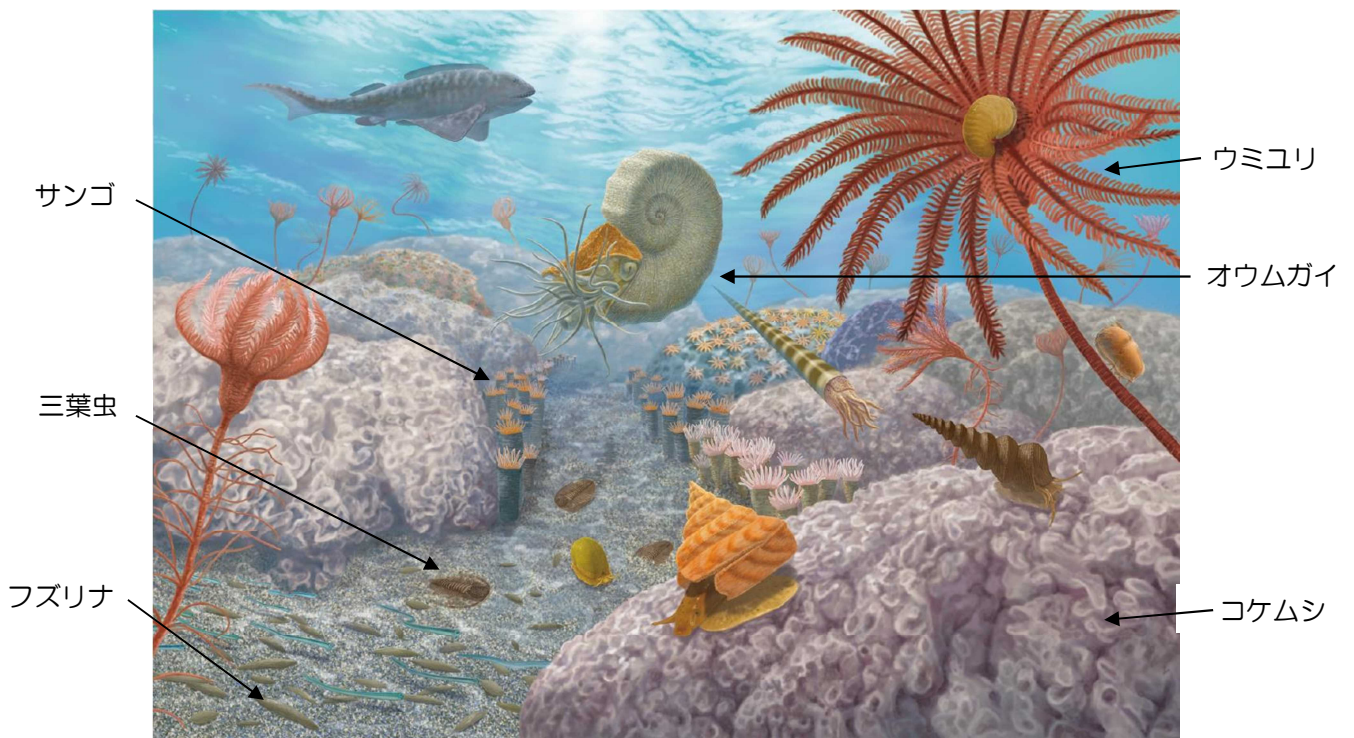
(右下) 三葉虫のイメージ [提供：山本 匠]



1 cm



### 3. 小椋谷層（約2億7000万年前：ペルム紀）の地層が堆積した当時の環境



ペルム紀海洋環境復元画 [提供：山本 匠]

大野市野尻に分布する小椋谷層（約2億7000万年前：ペルム紀）からは、三葉虫、オウムガイ、フズリナ、サンゴ、コケムシなどの化石が発見されています。このことから、小椋谷層の地層は、コケムシ礁、サンゴ礁が広がる暖かく浅い海で堆積したことがわかります。